

授業科目	エクスターンシップⅠ			学科	工・薬・保・未 各学部	主要 授業 科目	
授業科目(英)	Externship I			科目ナンバリング	CMN249010 1	実践 的科 目	
単位	1単位	科目区分	その他科目	学年・開設期	1年	前期 後期	AL科 目
担当教員	堀内 寿晃、春名 弘一、坂部 俊行						
1. 授業の目的							
<p>この科目は、国内及び国外において、自己の適性や将来設計について考え、主体的な職業選択を行えるようになるために有効な学修として、国内外の地域における中小企業の魅力発見、あるいは自立と協働に向けた力の修得にもつながる貴重な機会を提供する。</p> <p>国内でのエクスターンシップについては、学科の専門教育に関わる業種の企業、各種法人および公的機関など（以下、企業等という）にて、自らが専門分野の実務を体験することで、関連する職種における業務の内容およびそれら職種に求められる知識や能力を理解し、大学における学修の深化、新たな学習意欲の喚起および職業意識の醸成を図ることを目的とする。</p> <p>また、国外でのエクスターンシップについては、海外研修プログラムを正課授業として展開し、コミュニケーション力向上、多文化理解および就労体験への機会を提供することで、グローバルな視点を持った学生の養成を行うことを目的とする。</p>							
2. 授業の方法							
<p>【国内】 対象は工学部・未来デザイン学部の1～4年次、前期・後期とする。履修学期より前の学期に本科目の履修要項に従う手続きを経て、企業等において通算40時間以上かつ5日間以上の就業体験を行い、履修学期にエクスターンシップ報告書を提出すると共に、所定の報告会にて発表する。</p> <p>【国外】 対象は、全学部・全学科の1～6年次、前期・後期とする。渡航3か月前までに本科目の履修要項に従う手続きを経て、受け入れ大学及び受け入れ大学が手配する企業等において通算40時間以上かつ2週間以内の就業体験を行う。帰国後はエクスターンシップ報告書を提出すると共に、所定の報告会にて発表する。</p> <p>なお、国内外における就業体験の実施時期は、通常授業が行われない日（休日や長期休業期間）を原則とするが、通常授業の学修に支障がない場合は受入企業等の都合に応じて時期を変更できる。また、国内・国外、通算4単位を履修上限とする。</p>							
3. 授業計画							
本科目は別に定める“特別科目「エクスターンシップⅠ～Ⅳ」履修要項”に沿って次のように学修する。							
授業、事前・事後学修の内容							

国内・国外における学修の内容については、以下のとおりとする。

【国内】

(1) エクスターンシップ先の選定

- ・履修学期より前の学期において、学内で開催される「エクスターンシップ説明会【事前準備(1時間)および情報整理(1時間)を含む3時間】」に参加し、エクスターンシップ受入企業等の業務内容等を調べ、希望する企業等を選定する。なお、自己開拓した企業等へのエクスターンシップも可能とする。
- ・受入企業等の承諾など所定の手続きを経てエクスターンシップ先を決定する。

(2) 事前準備

- ・エクスターンシップを実施する前に、ビジネスマナー講習【事前準備(1時間)および情報整理(1時間)を含む3時間】を受け、所定の賠償保険に加入する。
- ・エクスターンシップの目的を正しく認識し、就業体験させていただく業務に求められる基本的な知識やビジネスマナーを身につける。

(3) エクスターンシップの実施

- ・受入企業等において担当者指導のもとで業務補助等の就業体験を行う。【就業体験においては事前準備(1時間)および業務結果をエクスターンシップ日誌の作成(2時間)を含む】

(4) エクスターンシップ報告書の作成と発表

- ・履修学期において、本科目を履修登録した後、エクスターンシップの学修実績を記したA4判5頁程度の報告書を作成【5時間】し、その内容を所定の報告会にて発表【発表準備に4時間】する。
- ・エクスターンシップ報告書は、就業体験として行った具体的な業務補助の内容および指導担当者の所見を記した「エクスターンシップ日誌」を添付して提出する。

【国外】

(1) 希望する職種等の決定

- ・受け入れ大学に希望内容を伝える。
- ・受け入れ大学からの回答を得て、エクスターンシップ先を決定する。

(2) 事前準備 (2時間)

- ・渡航先の文化、商習慣などを学び、理解するとともに、日本の文化や商習慣にもある程度精通しておく。
- ・エクスターンシップの目的を正しく認識し、就業体験させていただく業務に求められる基本的な知識やビジネスマナーを身につける。

(3) エクスターンシップの実施 (40時間)

- ・受入企業等において担当者指導のもとで業務補助等の就業体験を行う。【就業体験においては事前準備(1時間)および業務結果をエクスターンシップ日誌の作成(2時間)を含む】

(4) エクスターンシップ報告書の作成と発表 (3時間)

- ・本科目を履修登録した後、エクスターンシップの学修実績を記したA4判5頁程度の報告書を作成し、その内容を所定の報告会にて発表する。
- ・エクスターンシップ報告書は、就業体験として行った具体的な業務補助の内容および指導担当者の所見を記した「エクスターンシップ日誌」を添付して提出する。

教科書

参考書

4. DP (学位授与の方針) との対応		
DP (学位授与の方針) との対応なし		
5. 達成目標		
番号	DP	達成目標
①		興味ある業種や職種における業務内容を理解し、自己の職業意識を高めると共に、大学での学修を深化させることができる。
②		働くことの意義、企業等の存在意義、社会における職業的な自立と協働の大切さ、および他者とのコミュニケーションの必要性を理解できる。
③		希望する職業に就いて社会的に自立するために必要となる自律的行動を実践することができる。
④		
⑤		
⑥		
⑦		
⑧		
⑨		
⑩		
6. 履修に当たっての留意点		

【国内】

企業等における就業体験は、自己の適性判断や将来像を描くために貴重な機会となるので、積極的に学外へ出て学修することを勧める。但し、企業等におけるエクスターンシップを行うためには、基本的なビジネスマナーや職種の基礎知識を身に付けておくことが不可欠となることを自覚して欲しい。成績評価は、履修要項の要件を満たして実施されたエクスターンシップ日誌、エクスターンシップ報告書およびその発表内容に基づき、総合的に判断する。

【海外】

渡航費は自己負担となる。プログラム開催時期、応募要件、奨学金の有無等は募集要項による。エクスターンシップ実施先は協定締結大学および現地企業等を予定している。

7. 試験および成績評価の方法

達成目標	DP	試験	小テスト	宿題	レポート*	発表*	作品*	その他	計
①					40				
②						30			
③						30			
④									
⑤									
⑥									
⑦									
⑧									
⑨									
⑩									
	計								

*：パフォーマンスに関する評価

「その他」の評価手段を用いる場合は具体的な内容、基準を記載する